

令和8年度 1級土木施工管理技術検定 2次試験 解答試案

【問題 1】

施工体験記述（安全管理・工程管理）につき省略します。

※従来通りの内容ですが、現場の状況、技術的課題、それを解決するための検討項目、検討項目の
対応処置とその評価を8行で書かせるようになっています。
(内容としては、やや優しい内容です)

【問題 2】

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
1.5	呼び	最大	成績表	0.30

【問題 3】

- ① 保管場所の周囲に囲いを設ける。
- ② がれき類は、粉塵の飛散防止のため、必要に応じてシート等で覆い、散水、囲障などを行なう。
- ③ がれき類は、積み上げ高さ、勾配等に留意し、崩壊流出を防止する。
- ④ 見やすい箇所に、廃棄物の種類、管理者等を表示した掲示板を設ける。
- ⑤ 他の廃棄物が混合しないよう、仕切りを設け、補完物の種類、責任者を表示する。
- ⑥ 汚水の浸透による汚染を防止するため、底面を不浸透性の材料で覆う。
- ⑦ 木くず等の可燃物を保管する場合、消火設備等を設ける。
- ⑧ ねずみ、蚊、ハエ、その他の害虫が発生しないようにする。

・・・等

【問題 4】

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
水和	温度	型枠	早強	振動

【問題 5】

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
仕様書	施工者	基準値	回数	走行位置

本解答は、九州建設専門学院の「解答試案」です。解答内容は
予告なしに変更になることがあります。ご了承下さい。



【問題 6】

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
防網	要求性能	手すり	フルハーネス	特別教育

【問題 7】

(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
7	促進	調査	特定	指導

【問題 8】

- ① 切土面には3%程度の横断勾配を取り、滑らかに整形して表面排水を促す。
- ② 湧水の多い箇所では、切土に先行して、法面に沿ってトレンチ(素堀の溝)を掘削し湧水を排除する。
- ③ 地下水位が高い箇所や湧水箇所では、切土の各段階ごとに水位を下げるため、地下水のある側に、十分な深さのトレンチや水平排水孔を設ける。

・・・等

【問題 9】

番号	ひび割れ	防 止 対 策
①	沈みひび割れ	・単位水量の少ない(スランプの小さい)コンクリートを用い、ブリーディングを抑制する。 ・沈下が終了するまでの間に、タンピングや再振動を行なう。 ・1回の打込み高さを小さくし、沈下が落ち着いてから上層を打ち込む。(打込み速度を遅くする)
②	凍害によるひび割れ	・AE剤(AE減水剤)を用いて、適切な空気量(6%程度)を確保する。 ・所定の強度が得られるまで、コンクリート温度を5℃以上、その後2日間は0℃以上を保つ。 ・セメント比を小さくし、密実で耐凍害性の高いコンクリートとする。
③	水和熱による温度ひび割れ	・低発熱型のセメント(中庸熱セメント、低熱ポルトランドセメント、高炉セメントB種、フライアッシュセメント)を使用する。 ・単位セメント量を少なくする。 ・プレクーリングやパイプクーリングにより、コンクリート温度の上昇を抑制する。
④	アルカリシリカ反応によるひび割れ	・アルカリシリカ反応の抑制効果のある混合セメントを使用する。 ・コンクリート中のアルカリ総量を3.0kg/m³以下とする。 ・骨材のアルカリシリカ反応試験で無害と確認された骨材を使用する。

本解答は、九州建設専門学院の「解答試案」です。解答内容は
予告なしに変更になることがあります。ご了承下さい。



【問題 10】

- ① 作業の方法、転倒防止対策、労働者の配置等を定め、作業の開始前に関係労働者に周知する。
- ② クレーンの定格荷重を超える荷重をかけて使用してはならない。
- ③ 一定の合図を定め、合図を行なう者を指名し、その者に合図を行なわせる。
- ④ 地盤が軟弱な場所では、転倒を防止するため、必要な広さ及び強度を有する鉄板等を敷設し、その上に移動式クレーンを設置する。
- ⑤ アウトリガーを有する移動式クレーンを用いる場合、アウトリガーを最大限に張り出させる。
- ⑥ 上部旋回体との接触により労働者に危険が生ずる恐れのある箇所は、立ち入りを禁止する。
- ⑦ 強風のため移動式クレーンに関わる作業について危険が予想される時は、作業を中止する。

・・・等

【問題 11】

- ① 騒音の小さい工法を採用する。
- ② 国土交通省の指定する低騒音型建設機械を使用する。
- ③ 施工箇所の周囲に、遮音壁、防音シート、防音パネル等を設置する。
- ④ 騒音の発生期間、作業時間を短縮し、夜間、早朝の作業を避け周辺への影響の少ない時間帯とする。
- ⑤ 建設機械の集中稼働を避け、稼働台数や作業を分散する。
- ⑥ 不要な空ぶかしや高い負荷をかけた運転は避け、作業の待ち時間にはエンジンを止める。
- ⑦ 機械の点検・整備をよく行ない、履帯の調整に留意する。
- ⑧ 不要な高速運行は避け、運搬路はできるだけ平坦に整備する。
- ⑨ 定置機械等は周辺への影響の少ない場所に設置したり、防音建屋の中に置く。

・・・等